

# - QDAソフトウェア利用のススメ -

大阪大学大学院人間科学研究科

樋口麻里 様 (写真右)

志水洋人 様 (写真左)

MAXQDAの開発元VERBI社から日本のMAXQDAのヘビーユーザとしてご紹介いただきました大阪大学人間科学研究科の志水洋人 様と志水様がご所属されている研究科の樋口麻里 助教にお会いいたしました。MAXQDAについて使い勝手や他の競合ソフトウェアとの機能比較だけでなく、QDAソフトウェア全般についてもお話を伺うことができました。



## — 現在のMAXQDAの使用状況を教えてください

志水様: たまたま研究で初めて使用したQDAソフトウェア(Qualitative Data Analysisソフトウェア)がMAXQDAでした。現在も使用し続けており、MAXQDAの国際カンファレンスに参加したり、日本語メニューの監修を行ったりするなど関りを深めています。開発元からMAXQDAのトレーナー登録を誘われており、今後の進路の状況によっては登録する予定です。

樋口様: 大阪大学大学院人間科学研究科は、授業でQDAソフトウェアの使い方を取り上げています。

※以降の質問はお二人に同時に答えていただいたためお名前を明記していません。

## — 質的データ分析でQDAソフトウェアを使用する利点は何でしょうか?

1つ目は「データの収集と分析を一体で行えて、その過程を一緒に残せること」です。質的データ分析では「データ収集→分析→分析結果から次に必要なデータを検討→データ収集→・・・」というプロセスを繰り返します。WordやExcelなどの汎用ソフトウェアでこれらの作業を行うと、集めたデータ・手順や思考などのメモ・分析結果を別ファイルに保存しなければならないケースが多く、分析プロセスを進めるにしたがってファイル数が増加して管理が

複雑になります。長期間にわたる調査では分析とデータ収集に間が空いてこのファイルの関係を忘れてしまい、思い出さなければならないということがしばしば起こります。その点、QDAソフトウェアは収集したデータを1つのソフトウェア内にまとめ、そこで分析を行えるためデータと分析がバラバラになりません。また、メモなどの分析の過程も一緒に残せるため、どのような手順・考えで分析を行ったかを素早く簡単に確認することができます。

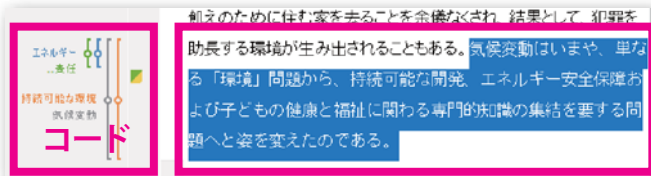
2つ目は「検索が容易なためデータ全体を俯瞰することが苦にならないこと」です。質的データ分析では「特定の興味だけに集中してしまう」という問題が発生しがちですが、QDAソフトウェアを使用するとデータ全体を検索できるため全体を容易に俯瞰でき、様々な視点からの新たな気付きを得られやすくなり、分析の幅を広げることができます。

## — 様々なQDAソフトウェアが存在していますが、他と比較してMAXQDAのここが良いという点はございますか?

質的データ分析と一言で言っても様々な手法が存在しています。現在販売されているQDAソフトウェアはそれぞれ似たようなことができるようになっていますが、設計思想の元となっている分析手法が異なります。MAXQDAはグラウンデッド・セオリー・アプローチと混合研究法のどちらの要素も取り入れた設計となっているため、どういっ

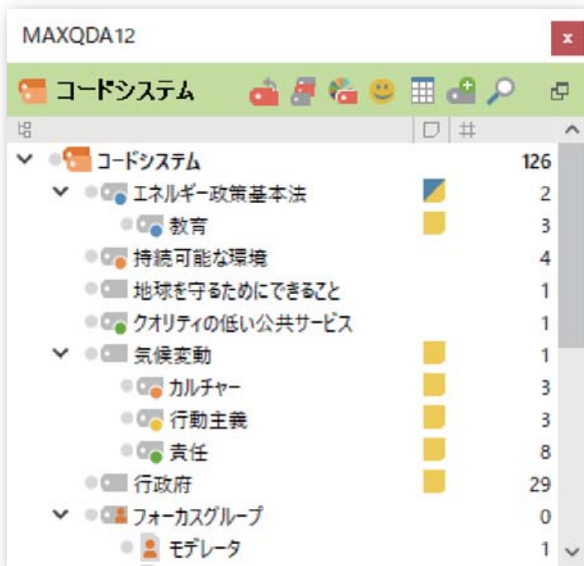
た手法で分析したいかが定まっていなくても柔軟に対応することができる点が魅力です。MAXQDAと他のQDAソフトウェアとしてメジャーな競合ソフトウェアを使用して比較しましたところ、主に以下の6つがMAXQDAの利点でした。様々なQDAソフトウェアの中でMAXQDAは初心者でも使いやすいため、QDAソフトウェアの使用方の講義ではMAXQDAを利用しています。

## 1. コードとデータの対応が分かりやすい



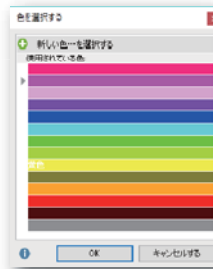
コードをクリックすると対応した箇所が選択されます

2. コードシステムウィンドウを分離でき、コードツリーが長くなっても見やすい
3. コードツリーがドラッグ&ドロップで編集できる
4. コードツリーの形が右から左に行くにしたがって抽象度が上がるため分かりやすい

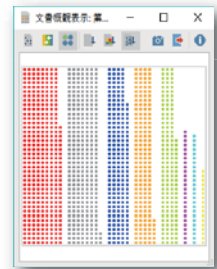


コードシステムウィンドウ

## 5. 指定できる色が無制限→図解ツールで全体を俯瞰した際に見やすい

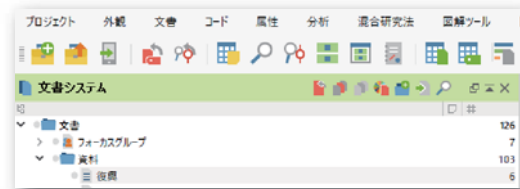


無制限に選択可能な色



図解ツールでの表示例

## 6. メニューの日本語が正しく日本語として理解できる



日本語表示のインターフェース

## — MAXQDAを使用する際のテクニックはございますか？

MAXQDAだけに限らず他のQDAソフトウェアも同じですが、「元に戻す」機能がありませんのでファイルのバックアップが非常に重要です。分析を試行錯誤する中で元に戻りたいことが頻繁にありますので、バックアップを取っていつでも元に戻れるようにしておくこと、安心して分析を進めることができます。

## — MAXQDAでここは改善してほしいという点はございますか？

詳細な機能のマニュアルが英語しかないため、日本人へ導入を勧め辛いです。日本語のマニュアルと日本語の解説動画があると助かります。今ある英語の解説動画に日本語の字幕を付けるだけでも役立ちます。

— 本日はご多忙中にもかかわらず、貴重なお話をお聞かせ頂きありがとうございました。

MAXQDAの詳細は Web をご覧ください  
[www.lightstone.co.jp/maxqda/](http://www.lightstone.co.jp/maxqda/)



開発元



正規国内代理店



〒101-0031 東京都千代田区東神田2-5-12 龍角散ビル7F  
 TEL 03-3864-5211 FAX 03-3865-0050  
 e-Mail : sales@lightstone.co.jp www.lightstone.co.jp/